

高社研 **自律** リハビリ技術情報

★★

プログラム化された米国特許の新しいリハビリ技術が「失った機能を取り戻したい」を支援します。

発行元//NPO 高齢市民が活躍するための社会技術研究会(略称/高社研)

<http://www.jiritu.org/>

発行責任者//滝沢茂男(E-mail takizawa@jiritu.net)

神奈川県藤沢市善行 7-5-4 〒251-0871 Fax 0466-81-8815

「高社研」は、施設基準・配置基準から回復度基準への変化に対応した、新しい研究成果をお届けします。

「高社研」は、独立行政法人福祉医療機構の助成事業を基に設立された介護予防を研究するNPO法人です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今号ではバイオフィリアリハビリテーション学会研究部会報告会開催のご案内を申し上げます。

各研究会の参加申し込みは2013年1月29日より2週間2月12日までの間受け付けます。

予稿集は各研究会とも相当なページ数が予期され、研究会によっては400ページを超えるものも予定されていますので、参加希望者分を発行し、実費(1000-3000円程度と思われる)を頂戴します。お申し込みを忘れずをお願いします。お申し込みいただけない場合はご参加いただけないとご理解ください。よろしく願い申し上げます。お申し込みは以下のアドレスからお願いします。

<http://www.biophilia.info/postmail/postkenkyumail.html>

[1] ★ バイオフィリアリハビリテーション学会研究部会報告会

HYPERLINK "<http://www.biophilia.info/index.shtml>"

●2013年3月1日(研究部会報告会)

横浜国立大学大学院工学研究科棟

第1室 6階605室

第2室 1階101室

会場ご案内 <http://www.biophilia.info/kenkyu/kenkyu51.shtml>

■主催: バイオフィリアリハビリテーション学会研究部会

■共催: 横浜国立大学 機能再建のための工学支援研究拠点

<http://vib.me.ynu.ac.jp/ils/index.html>

■共催: NPO 高齢市民が活躍するための社会技術研究会

[2] ★同報告会詳細ご案内

2-1

バイオフィリアリハビリテーション学会研究部会工学研究会 大会長 高田一 (横浜国立大学教授)

期日 2013年3月1日午前10時より

会場 横浜国立大学 大学院工学研究科棟 1階101室

[http://www.biophilia.info/kenkyu/map_ynu\(S7-1\).pdf](http://www.biophilia.info/kenkyu/map_ynu(S7-1).pdf)

平成18-19年度 文部科学省科学研究費基盤(C) (横浜国立大学高田一教授): リハビリテーションにおける回復度評価システムの構築 (18560245)

平成17年度 NEDO 技術開発機構大学発事業創出実用化研究開発事業(横浜国立大学高田一教授): 視線検知技術の改良と産業分野への応用

平成16-17年度 文部科学省科学研究費基盤(C) (慶應義塾大学武藤佳恭教授): リハビリテーションによる回復度評価データの標準化の為にデータベース構築と分析

平成13年度 中小企業総合事業団課題対応新技術研究FS調査(バイオフィリア研究所滝沢茂男所長): 創動運動用上肢訓練器兼用リフト機器開発に関する研究調査

以下3件を合併して1

平成13年度 神奈川県産業技術総合研究所研究職員民間派遣事業: 創動運動用下肢訓練システム開発

平成11年度 神奈川県産業技術総合研究所研究成果展開型共同研究事業: 歩行訓練機による機能回復度を定量的に評価するシステムの開発

平成10年度 神奈川県産業技術総合研究所創業期開発支援事業: 下肢機能回復訓練ステーション (家本晃・バイオフィリア研究所滝沢茂男所長)

以下2件を合併して1

平成7-11年度 神奈川県中小企業創造活動促進法: 新4輪型ソリ付き歩行器の開発

平成5-7年度 NEDO (独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) 福祉用具開発助成(バイオフィリア研究所滝沢茂男所長): 新4輪型ソリ付き歩行器の開発

2-2

バイオフィリアリハビリテーション学会研究部会社会科学研究会 大会長 牛澤賢二 (高齢市民が活躍するための社会技術研究会理事)

期日 2013年3月1日午後2時より 会場 横浜国立大学 大学院工学研究科棟 1階101室

平成17-18年度 文部科学省科学研究費補助金(萌芽) (新潟医療福祉大学牧田光代教授): 介護保険出来高報酬制度の可否と変更する場合の諸要件の研究 (17651094)

平成14-15年度 文部科学省科学研究費基盤(C) (産能大学牛澤賢二教授): 高齢者及び軽度痴呆高齢者の消費者教育の実際と将来像調査研究

平成 13-14 年度 文部科学省科学研究費基盤 (C) (産能大学松岡幸次郎教授): 寝たきり高齢者削減に向けたリハビリテーション手法普及に関する研究

平成 13 年度 中小企業総合事業団課題対応新技術研究 FS 調査: 創動運動用上肢訓練器兼用リフト機器開発に関する研究調査

2-3

高齢市民が活躍するための社会技術研究会 大会長 尾澤潤一 (バイオフィリアリハビリテーション学会理事)

期日 2013 年 3 月 1 日午前 10 時より

会場 横浜国立大学 大学院工学研究科棟 6 階 605 室

平成 18 年度 独立行政法人福祉医療機構・障害者福祉基金助成事業-地方分: 自立生活を可能にする創動運動講習会開催事業

国異業種グループ補助事業

創立総会議事録

県異業種グループ補助事業

2-4

バイオフィリアリハビリテーション学会研究部会医学研究会 大会長 森田能子 (岡山リハビリテーション病院リハビリテーション科部長)

期日 2013 年 3 月 1 日午後 2 時より

会場 横浜国立大学 大学院工学研究科棟 6 階 605 室

平成 20 年度 文部科学省科学研究費基盤 (B) (青森県立保健大学渡部一郎教授): 四肢局所運動・物理療法が交感神経機能に与える効果

平成 18-19 年度 財団法人テクノエイド協会調査研究事業(バイオフィリアリハ学会木村哲彦会長): 褥瘡予防における福祉用具の役割とその利用の実際の研究

平成 17-18 年度 文部科学省科学研究費基盤 (C) (国際医療福祉大学木村哲彦教授): 褥瘡対策未実施減算導入後の褥瘡に関する研究

平成 15 年度 財団法人テクノエイド協会福祉用具普及促進助成: 福祉用具による大腿骨頸部骨折患者の ADL 向上と自立のための調査研究

平成 12 年度 テクノエイド協会助成調査研究事業(日本医科大学木村哲彦教授): 「高齢下肢骨折患者の ADL 向上と自立のための調査研究」

2-5

21 世紀リハビリテーション研究会 大会長 遠藤敏 (バイオフィリアリハビリテーション学会理事)

期日 2013 年 3 月 1 日午後 3 時 30 分より

会場 横浜国立大学 大学院工学研究科棟 6 階 605 室 v

[http://www.biophilia.info/kenkyu/map_ynu\(S7-1\).pdf](http://www.biophilia.info/kenkyu/map_ynu(S7-1).pdf)

1996年の年度会議予稿
1998年の年度会議予稿
1999年の年度会議予稿
2000年の年度会議予稿
2001年の年度会議予稿（バイオフィリアリハビリテーション学会に移行）
NEDOへ提出の予稿

あ

[3] ★湘南の施設で介護予防システムに対応した、介護予防リハビリ・訪問リハビリが実施されて、
大きな効果が出ています。

●神奈川県社会福祉協議会・茅ヶ崎市・バイオフィリアリハビリテーション学会の後援により開催された、WAM：独）福祉医療機構助成事業「自立生活を可能にする創動運動講習会」で行った運動器疾患対策のノウハウを報告書の形で情報提供します。

●講習会報告書のお申込みは、封筒に500円分の切手を同封の上、報告書希望と明記して「高社研」宛ご請求ください。

<http://www.jiritu.net/>

メールニュースが不要な方は件名に不要と記入してご返信ください。今後お送りいたしません。